

総務省承認No.	No.26692
承認期限	平成19年3月31日まで

提出期限	平成 18 年 12 月 28 日
提出先(委託先)	(財)バイオインダストリー協会 〒104-0032東京都中央区八丁堀2-26-9

平成18年度 バイオ産業創造基礎調査
バイオ産業創造基礎調査票
(調査時点:平成18年3月31日現在)

経済産業省

この調査は、経済産業省が文部科学省、厚生労働省及び農林水産省と連携して、バイオ産業に係る市場調査を行うものであり、本調査により報告された記入内容は統計法により秘密が保護されます。

名称	(フリガナ)
所在地	〒

記入者	(部署名)
	(氏名)
電話	市外局番 局番 番号 内線 ()
FAX	市外局番 局番 番号
	E-mail :

問1. 貴社の資本金額 (平成18年3月末現在又は直近時点)

千億	百億	十億	一億	千万	百万

 円

問3. 貴社の設立年

西暦			

 年

問2. 貴社の常時従業者数 (平成18年3月末現在又は直近時点)

万	千	百	十	一

 人

(注)常時従業者には、有給役員、常時雇用者(正社員、準社員、アルバイト等の呼称にかかわらず、1ヶ月を超える雇用契約者及び当該年度末の前2ヶ月においてそれぞれ18日以上雇用了した者)の数を記入して下さい。

問4. 工場等所在地、出荷額割合

御社でバイオ関連製品を出荷している工場・事業所等の所在地都道府県コード(別表-1)とバイオ製品の出荷額全体を100とした出荷割合を御記入下さい。(平成17年度実績)
※工場・事業所等の所在地が1カ所の場合もご記入ください。

都道府県		割合(%)		都道府県		割合(%)	

問5. 貴社の業種分類

(最も売上高(平成17年度実績で消費税額を含む。)の大きい業種について、該当番号を「○」で囲んで下さい。)

01	農業	
02	林業	
03	漁業	
04	鉱業	
05	建設業	
061		食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業
062		繊維工業、パルプ・紙・紙加工品製造業
063		化学工業(医薬品製造業を除く)
064	製	医薬品製造業
065	造	石油製品・石炭製品製造業
066	業	鉄鋼業、非鉄金属製造業
067		一般機械器具製造業(プラント・廃水处理装置等含む)
068		電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、電子部品・デバイス製造業
069		精密機械器具製造業
06A		その他の製造業
07	電気・ガス・熱供給・水道業	
08	情報通信業	
09	運輸業	
10	卸売・小売業	
11	金融・保険業	
12	不動産業	
13	飲食店、宿泊業	
14	医療、福祉	
15	教育、学習支援業	
16	複合サービス事業	
17	サービス業(他に分類されないもの)	
18	その他	

問6. バイオテクノロジー関連製品等の国内生産年間出荷額等

バイオテクノロジー関連製品等で、貴社において販売を行っているものについてお聞きます(バイオテクノロジー関連製品等の定義、範囲に関しましては、「調査票の記入手引」を参照して下さい。)

- (1) 該当する製品分野コード番号(別表－2を参照)別に国内生産年間出荷額(平成17年度実績で消費税額を含む。)を百万円単位で御記入下さい。
なお、当該出荷額は、国内で生産されたバイオテクノロジー関連製品等に係る出荷額(生産額を含まない。)であり、これには輸出額を含みます。
- (2) 平成17年度を起点として5年後(平成22年度)の国内生産出荷額予測について、別表－3の該当する記号(A～E)を御記入下さい。なお、A、Eに該当する場合には、平成17年度実績を100とした場合の割合も御記入下さい。
(例①:5年後に出荷額が2倍になると予測される場合には、Aを選んだ上で200(%)と御記入下さい。)
(例②:5年後に出荷額が1／4程度になると予測される場合には、Eを選んだ上で25(%)と御記入下さい。)
- (3) 御記入いただいた製品分野の主な利用技術(別表－4を参照)、主な製品等のカテゴリ(別表－5を参照)に関して、それぞれ該当する番号、記号を御記入下さい。

製品分野 コード番号 (3桁)	国内生産年間出荷額 (単位 百万円)								主な 利用技術 (①～⑥)	主な製品等の カテゴリー (ア～オ)		
	平成17年度実績 (消費税額を含む。)						平成22年度(5年後)予測 (A, Eの場合のみ予想出荷割合記入)					
	兆	千 億	百 億	十 億	億	千 万	百 万	記号 (A～E)			予想出荷割合(%)	
例①	1	0	0						A	200	①	ア
例②	2	0	0						E	25	②	ウ
合計												

問7. バイオテクノロジー関連製品等の海外での生産動向

①海外生産の有無、②海外生産の動向(出荷額ベース)について該当するものを「○」で囲んで下さい。また、②で「増加する」を選んだ場合、③海外生産の増加理由について該当する記号(あ～お)を「○」で囲んで下さい。

①海外生産の有無	②海外生産の動向(出荷額ベース) 注)平成17年度と比較した平成18年度の見込み	③海外生産の増加理由について (②の設定で「増加する」を選んだ場合のみ)
あり	増加する (→設問③へお進み下さい)	あ 国内の顧客への商品供給のため、国内生産を減らし、海外生産を増やす(海外への生産のシフト)
	変わらない	い 国内の顧客への商品供給のため、国内生産を維持し海外生産を増やす
		う 国内の顧客への商品供給のため、海外への生産のアウトソーシングを増やす
なし	減少する	え 海外市場の顧客への商品供給のため、海外生産を増やす
		お その他 (複数回答可)